

# 平成22年漁況通報(年報)

平成23年3月3日  
大阪府環境農林水産総合研究所

## 巾着網(中部標本船)

カタクチイワシが7～9月に豊漁であった(図1)。

## 船びき網(南部標本組合)

イカナゴは、極度の不漁の前年より多かったが、平年の約半分であった(図2)。

イワシシラスは4～12月に漁が行われ、全般的に豊漁で、5・6月と10・11月に特に多かった(図3)。

すずき流網: 中部標本船は7～10月に漁が行われ、8～10月には平年を上回る漁獲があった(図4)。

かれい刺網: 中部標本船の出漁は少なかったが、不漁であった(図5)。

さわら流網: 南部標本組合の月漁獲量は、春漁は不振であったが、秋漁は好漁であった(図6)。

あなご籠: 中部標本船は1～10月に漁が行われたが不漁で、11・12月は休漁した(図7)。

## 小型底びき網

### 石げた網(中部標本組合)

マコガレイは近年不漁であるが、本年も著しい不漁が継続していた(図8)。

図1

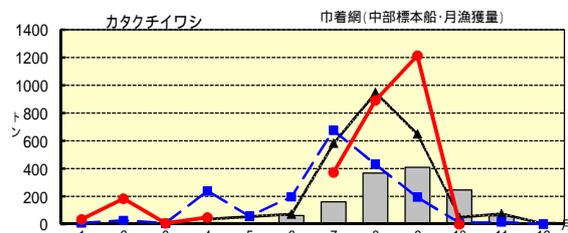


図2

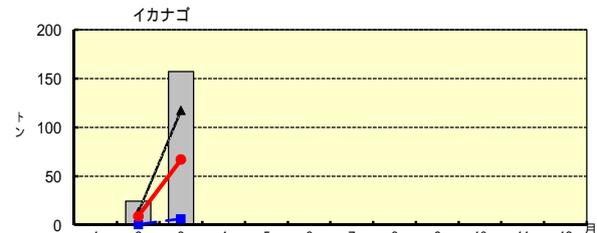


図3

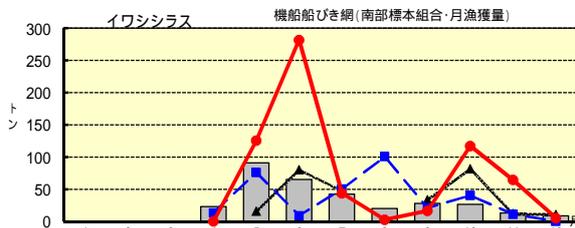


図4

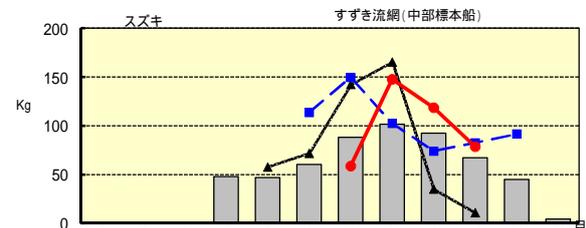


図5

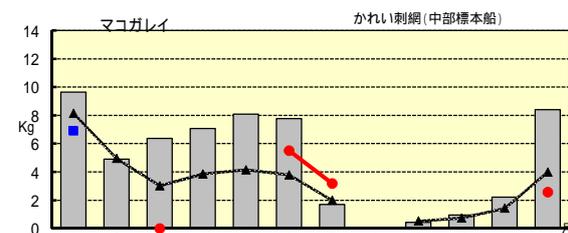


図6

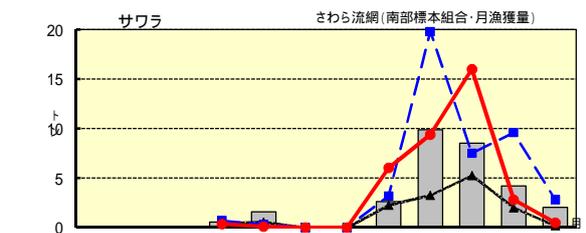


図7

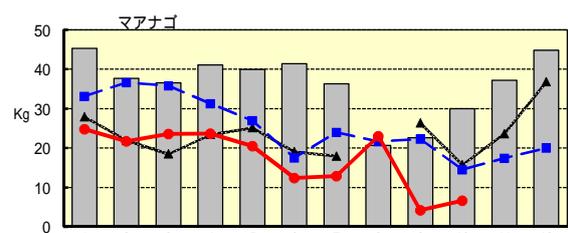


図8

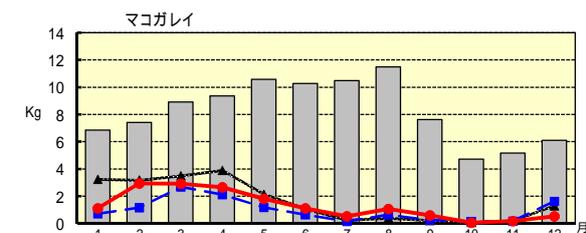


図1は標本船の月漁獲量、図2・3・6は標本組合の月漁獲量、それ以外は1日1隻当たりの漁獲量(kg)を示す。

■ 平年値      ●— 平成22年      ■— 平成21年      ▲— 平成20年

メイタガレイは2月を除き平年を下回っていた(図9)。

シタ類は8月までは平年を越えていたが、9月から平年並みまたは平年以下となかった(図10)。

ネズポコ類(ガッチョ)は4・5月は豊漁であったが、7月以降は不漁であった(図11)。

ガザミ(ワタリガニ)は8月以降、例年にない大漁～豊漁であった(図12)。

ヨシエビ(シラサエビ)は5月までは少なかったが、6月以降、好漁であった(図13)。

クマエビ(アシアカ)はここ3年間同じ傾向で、10・11月に豊漁であった(図14)。

小エビ類はほぼ平年並みの漁獲であった(図15)。

シャコは不漁が継続しており、特に7月以降はほとんど漁獲されなかった(図16)。

アカガイは周年漁獲が多く、特に2～6月に豊漁であった(図17)。

トリガイは漁獲のピークはなく、ほぼ平年並みであった(図18)。

図9

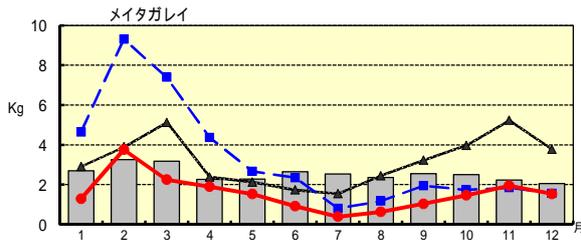


図10

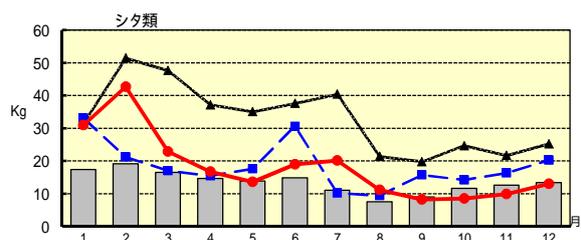


図11

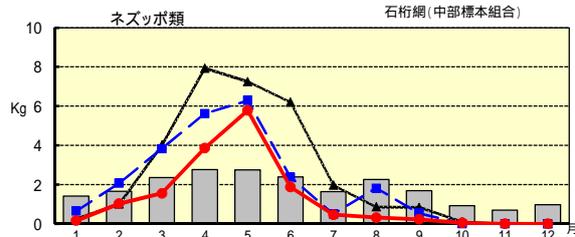


図12

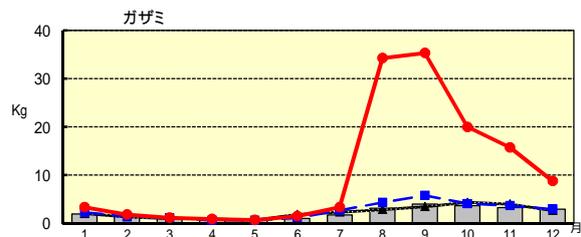


図13

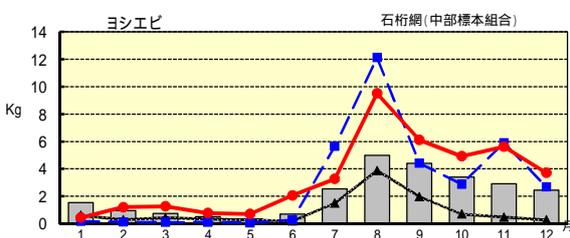


図14

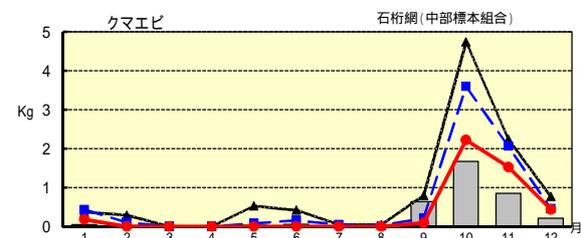


図15

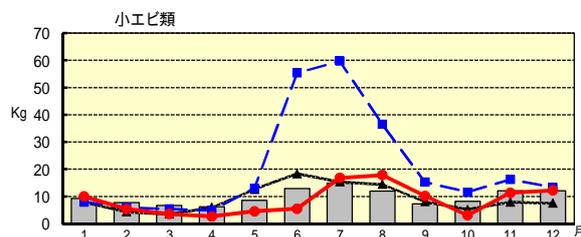


図16

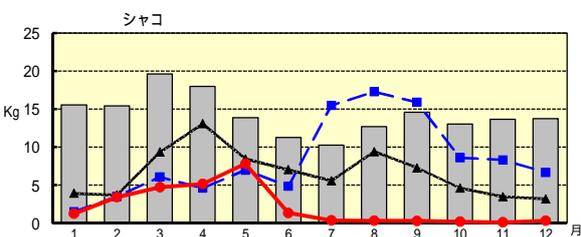


図17

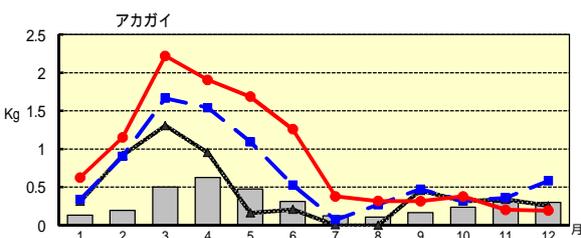


図18



1日1隻当たりの漁獲量(kg)を示す。

■ 平年値

● 平成22年

■ 平成21年

▲ 平成20年

## 板びき網

中部のスズキは、周年好漁であった(図19)。

中部のアジ類は、9・10月を除き不漁であった(図20)。

中部のマダイは4～9月に豊漁であった(図21)。

中部のクロダイ(チヌ)は近年好調で、特に11・12月は大漁であった(図22)。

中部のシログチ(グチ・クチ)は周年好漁であった(図23)。

中部のタチウオは、1月の豊漁を除き、ほぼ平年並みの漁獲であった(図24)。

中部のイボダイ(ウボゼ・シズ)は7～10月に漁獲され、8月に特に多かった(図25)。

中部のマナガツオは、10～12月に大漁であった(図26)。

カワハギ類(ハゲ・コウベ)は、中部は5・9～11月に多かったが、南部は11・12月に多かった(図27・28)。

図19

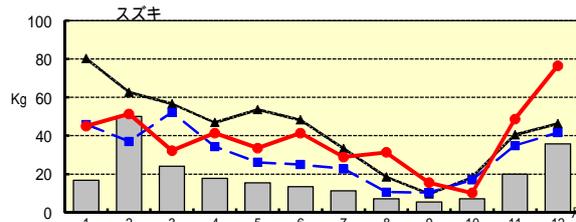


図20

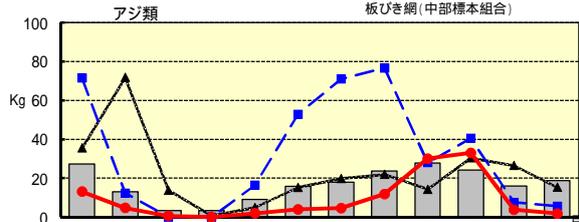


図21

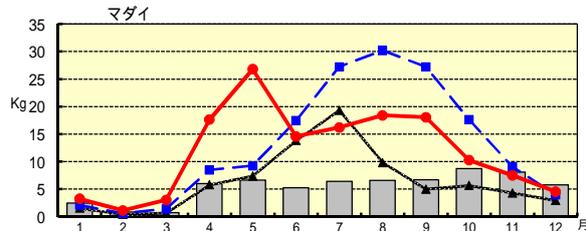


図22

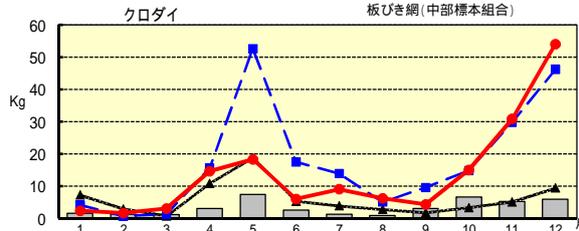


図23

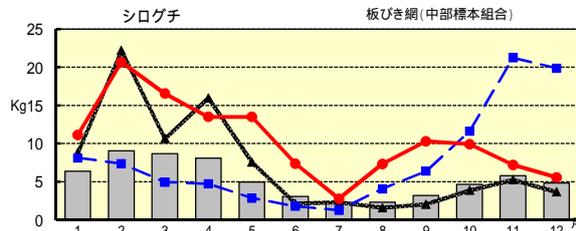


図24

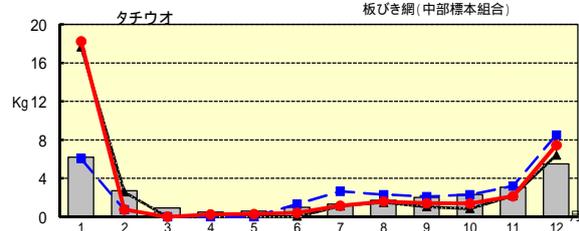


図25

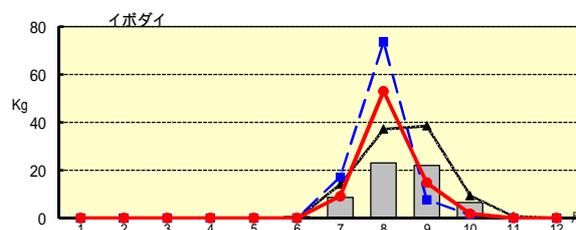


図26

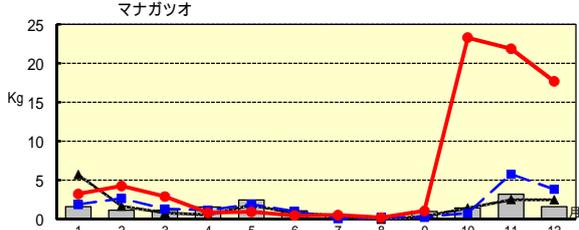


図27

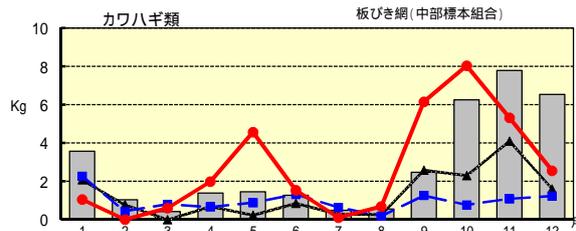
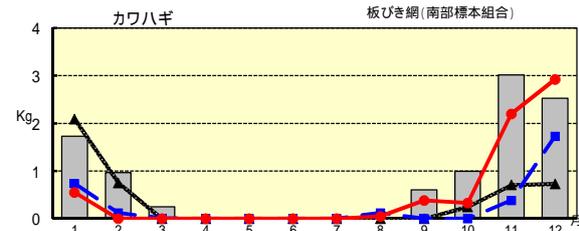


図28



1日1隻当たりの漁獲量(kg)を示す。

■ 平均値

● 平成22年

■ 平成21年

▲ 平成20年

ハモは近年漁獲量が増えており、中部では7～10月に、南部では5～10月に好漁であった(図29・30)。  
 南部のメタガレイはほぼ周年、平年を下回り不漁であった(図31)。  
 南部のシロギス(キス・キスゴ)の漁獲は低調であった(図32)。  
 南部のコエビ類は、周年不漁であった(図33)。  
 中部のマダコは、周年平年を下回り、不漁であった(図34)。  
 コウイカ類は中部は9～12月に、南部は1・4・5・11・12月に比較的多かったが、平年を下回った(図35・36)。  
 中部のジンドウイカ(ヒイカ)は5～9月に好漁であった(図37)。  
 中部のナマコは1月を除き不漁であった(図38)。

図29

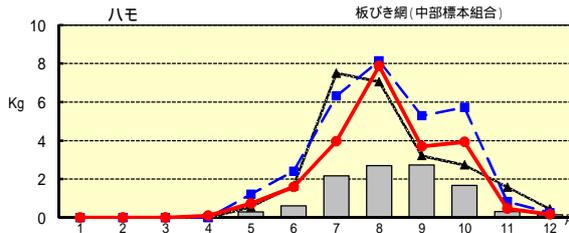


図30

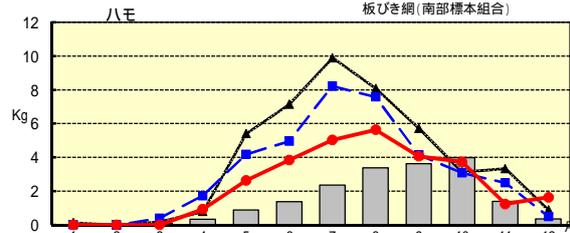


図31

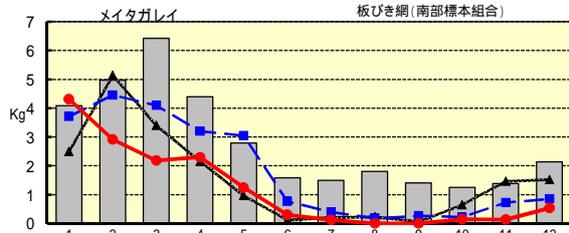


図32

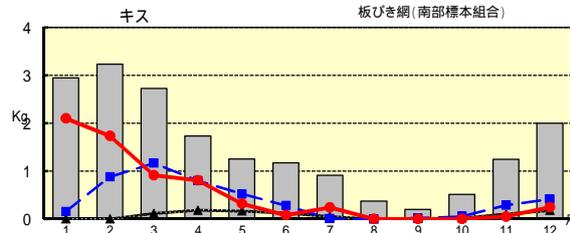


図33

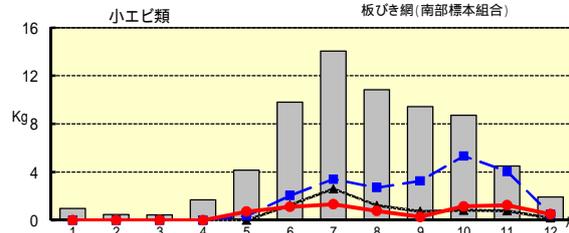


図34

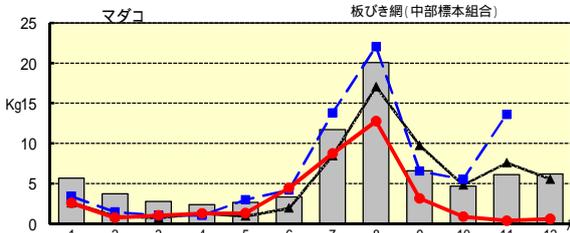


図35

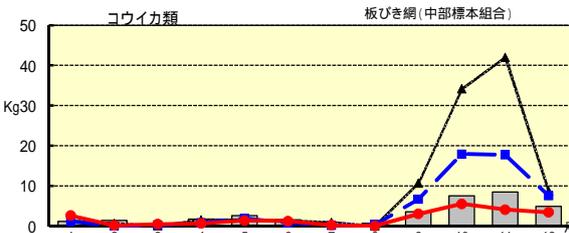


図36

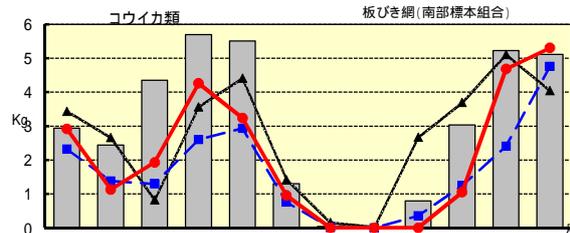


図37

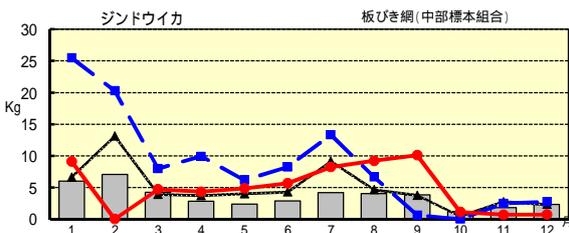
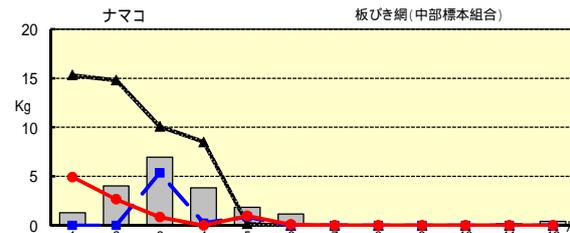


図38



1日1隻当たりの漁獲量(kg)を示す。

■ 平年値    ● 平成22年    ■ 平成21年    ▲ 平成20年